

## 12月例会「寒風・ミニ門松づくり教室」報告

令和元年12月15日(日)午前10時~11時45分。立田山野外保育センター雑草の森。参加者22名(うち会員13名)。雑草の森との共催。朝からあいにくの雨。それでも沢山のチビッコが次々と雑草の森にやってきて、今年最後の例会も楽しくにぎやかなものとなりました。

開始までの時間に、タンポポプみたいにフワフワと風に乗って飛ぶテイカカズラのタネ(写真)を飛ばしてみます。

最初にチビッコ代表の開会宣言。藤井会長と雑草の森の緒方センター長の挨拶の後、紙芝居「お正月と門松のはなし」を見ながら、門松の起源や歴史について学びます。年神様をお迎えする門松の由来を知り、ちびっ子も門松作りに気合いが入ります。

いよいよ工作教室の始まり。前回、幼児の参加が多かったので、前日にスタッフが孟宗竹や真竹の鋸引きをして、「部材」に加工してあります。竹のさわやかな香りが部屋中に広がります。

まず、孟宗竹の器(台座)と大・中・小の真竹3本を選んだら、真竹3本をガムテープで縛り、濡らした新聞紙を使って台座に固定。部材を選ぶチビッコの真剣な表情、親子で力を合わせて真竹3本を縛る様子、チビッコ以上に熱中するお母さんの姿など、はほほえましい光景があちらこちらに見られます。昨年参加したリピーターさんは手慣れた様子で、どんどん作業が進みます。

次は「ミニ扇子づくり」に挑戦。台紙を折り曲げて竹串に固定し、台紙を広げます。更に、赤い実(センリョウ、マンリョウ、ナンテン)、菊の花、松、梅も加えます。「花はこの辺りでいいかな?」まるで生け花教室の様に、楽しく悩む参加者の皆さん。最後に、器の胴体に「紅白水引」を貼り付けて、「マイ門松」の完成。「できた~!!」と大人もチビッコも大喜びでした。他の方の作品が気になる様子で、にわかに鑑賞会となりました。

最後に、「マイ門松」を手に手に、記念撮影をして、今年最後の例会を無事に終了しました。帰り道に野イチゴ(冬苺)を試食する親子の姿も。

探検隊会員の皆さん、参加者の皆さん、一年間お世話になりました。来年もどうぞよろしくお願ひします。良い年をお迎えください。

